

骨材のふるい分け試験 (J I S A 1102)

様式・品質 3-1

工 事 名 _____

工 種 _____

プラント名 _____

試料採取 _____

場 所 _____

試験年月日 _____

試験場所 _____

測定者 _____ 印 _____

現場代理人

	細 骨 材	粗 骨 材
最大寸法		
産 地		
比 重		
吸 水 量		

比重、吸水量は 年 月 日の測定値

細骨材の種類				粗 粒 率				粗 粒 率			
ふるい の 呼び (mm)	の 法	ふるい の 質量 (kg)	残 留 量	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)	ふるい の 質量 (%)
9.5											
4.75											
2.36											
1.18											
0.6											
0.3											
0.15											
Ⅲ											
計											

防 舷 材 形 状 管 理 表 (例)

工 事 名 _____ 型 式 _____

年 月 日 _____ 現場代理人 _____

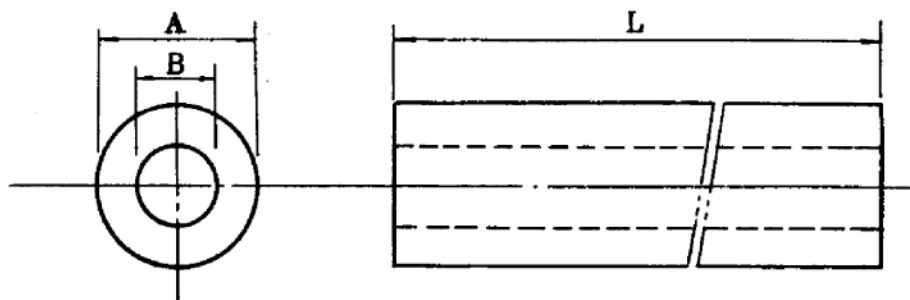
単位 mm

測定箇所		標準寸法	No.	No.	No.	備 考
長 さ	L ₁					
	L ₂					
幅	A					
	B					
高 さ	H					
ボルト穴径						
ボルト穴の 中心間隔	C					
	I ₁					
	I ₂					
そ の 他						

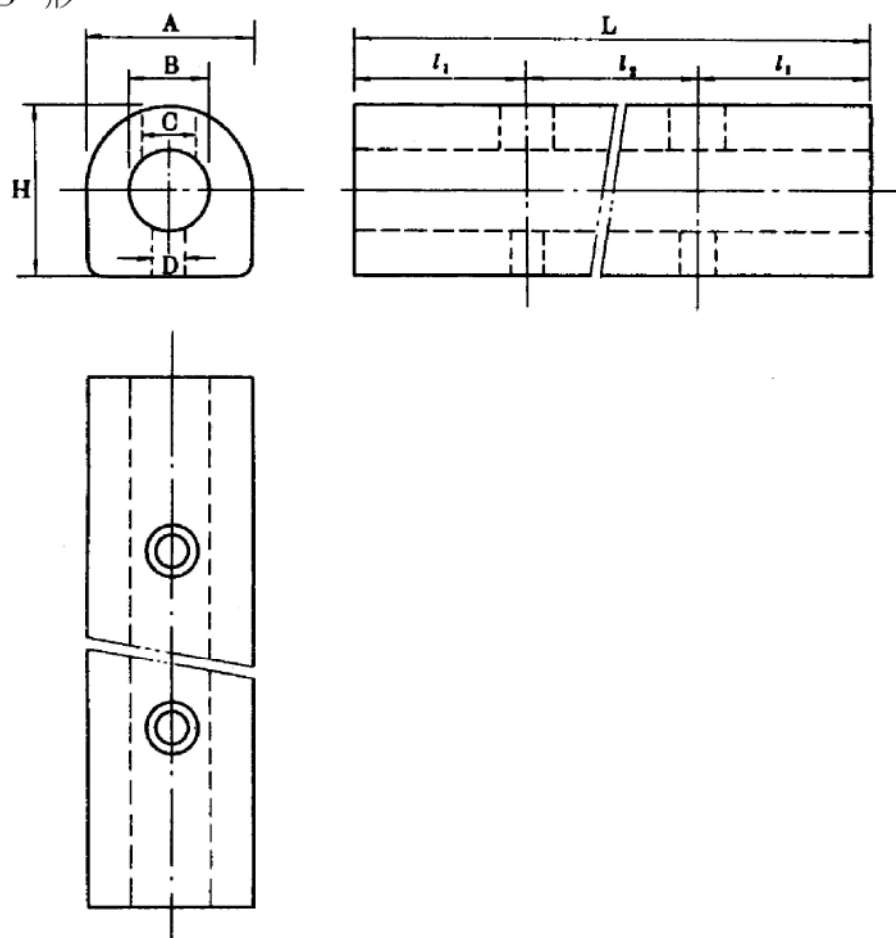
(別紙)

防舷材形状測定箇所 (例)

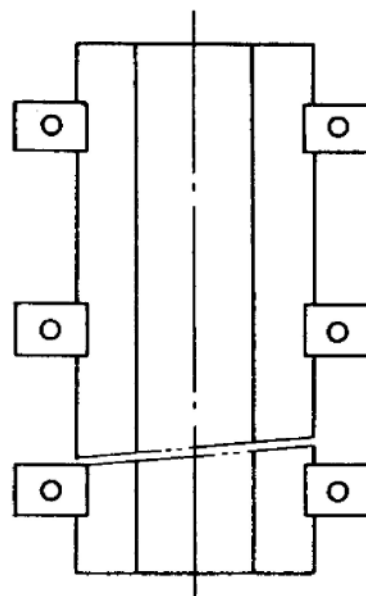
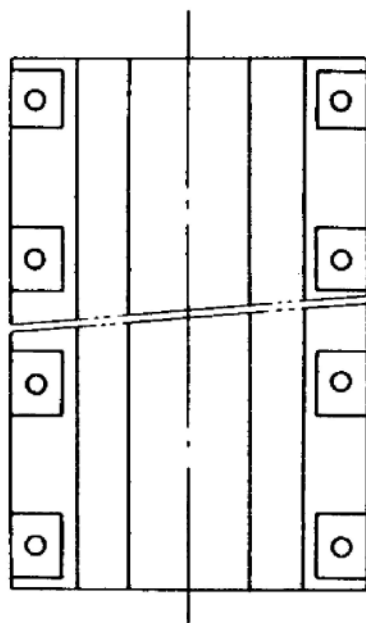
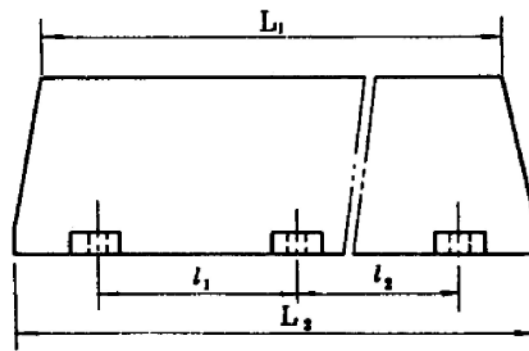
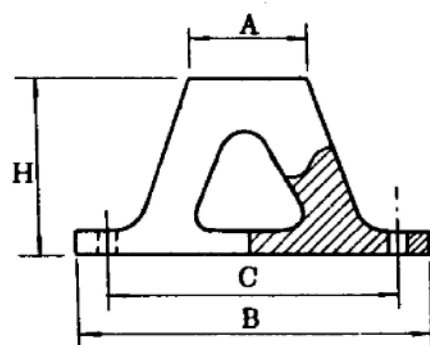
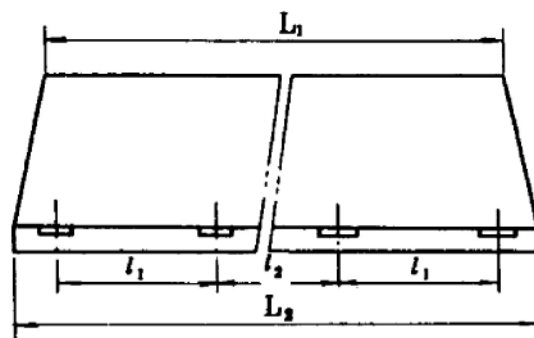
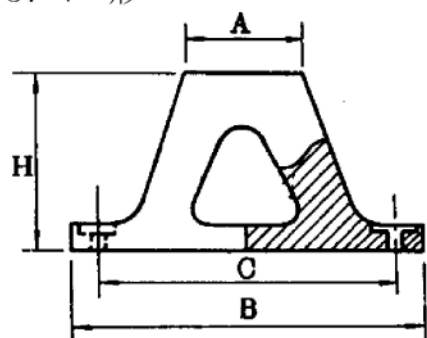
1. 中空円筒形



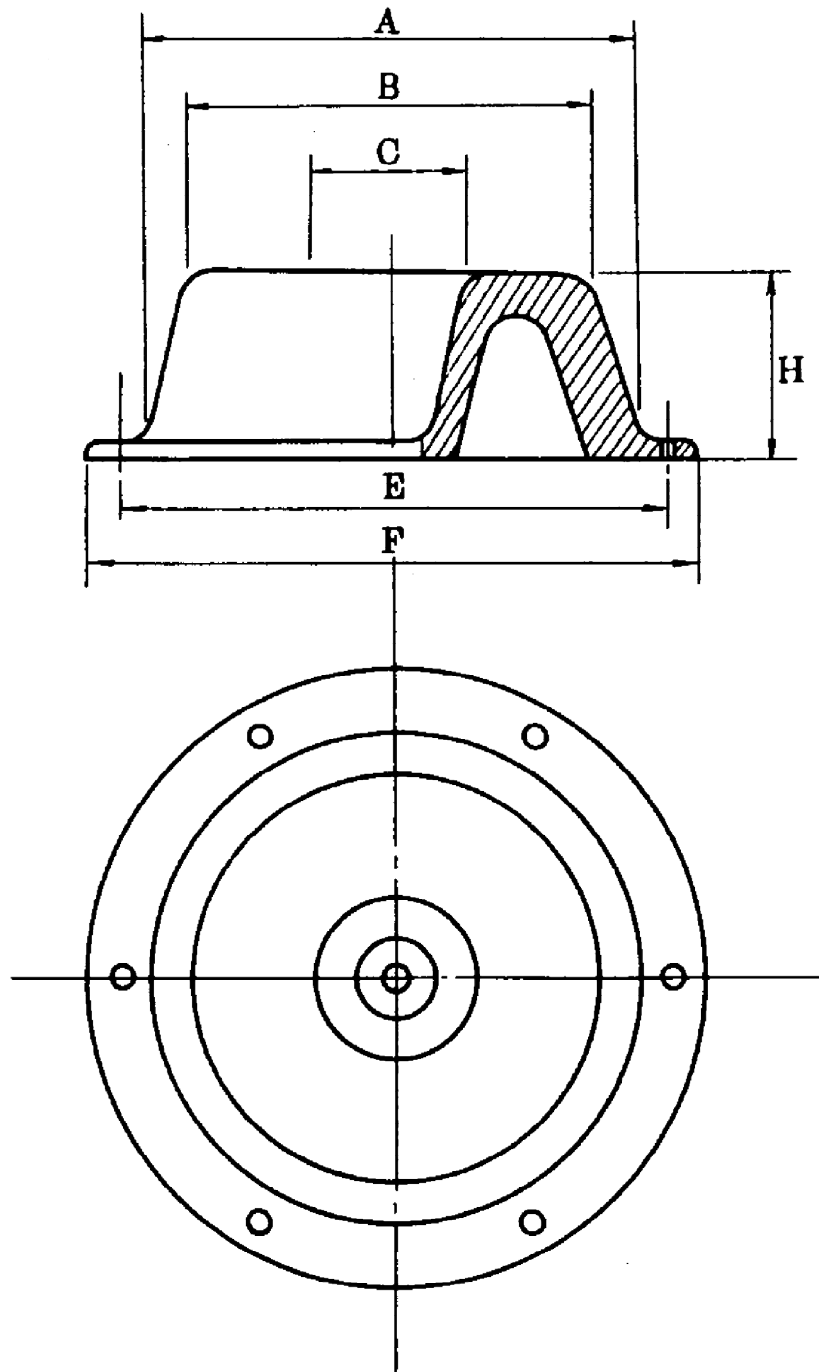
2. D 形



3. V 形



4. サークル形



コンクリート試験成績表（試験練用）

工 事 名 _____

工 種 _____

試 験 日 年 月 日

立 会 者 _____ (印)

試 験 場 所 _____

〃 _____ (印)

1 示方配合表

粗 骨 材 の 最 大 寸 法 (mm)	スランプの 範 囲 (cm)	空 気 量 の 範 囲 (%)	水セメント比 W/C (%)	細 骨 材 率 s/a (%)

2 現場配合表

コンクリート量 (m ³)	W (kg)	C (kg)	S (kg)	G (kg)
1				

3 試料採取及び養生（JIS A 1115 及び 1132）

採 取 年 月 日	
採 取 場 所	
採 取 時 刻	
天 候	
気 温	
コンクリート温度	
ス ラ ン プ	
空 気 量	
養 生 方 法	
養 生 温 度	
材 令	

プラント名 _____

測 定 者 _____ ⑩

現場代理人 _____

単 位 量 (kg/m ³)				
水, W	セメント, C	細骨材, S	粗骨材, G	混和剤 ()

混 和 剤 (ml, g)	表 面 水 (%)		摘 要	
	S	G		

4 試験成績表 (JIS A 1108 又は 1106)

供 試 体 番 号	No.	1	2	3	平 均
供 試 体 の 直 径	cm				
〃 幅	〃				
〃 高 さ	〃				
〃 長 さ	〃				
〃 スパン	〃				
最 大 荷 重	kN				
圧 縮 強 度	N/mm ²				
曲 げ 強 度	〃				
破 壊 状 況					
そ の 他					

コンクリート強度（圧縮）管理表

工事名 _____ 工種 _____

打設年月日	番 号	スランプ (cm)	空 気 量 (%)	温 度 (℃)		
					試験月日	X ₁

設 計 条 件

呼 び 強 度	N/mm ²	標 準 偏 差	N/mm ²
粗骨材の最大寸法	mm	変 動 係 数	%
スランプの範囲	cm～ cm	割 増 係 数	
空 気 量 の 範 囲	%～ %	配 合 強 度	N/mm ²

X管理

管理限界＝

UCL＝

LCL＝

$$\bar{X} = \frac{\sum X}{N} =$$

※ J I S工場の場合はR_s、R_m、 $(X - \bar{X})^2$ 、標準偏差、変動係数、割増係数、配合強

現場代理人 _____

σ_{28}			R _s	R _m	$(X-\bar{X})^2$	摘 要
X ₂	X ₃	平均値X				

図

R_s管理図

R_m管理図

標準偏差 $\sigma = \sqrt{\frac{\sum (X-\bar{X})^2}{N-1}}$

$\bar{X} \pm 2.66\bar{R}_s$

管理限界=3.27 $\bar{R}_s$

管理限界=2.57 $\bar{R}_m$
(n=3)

UCL=

UCL=

$\bar{R}_s = \frac{\sum R_s}{N-1} =$

$\bar{R}_m = \frac{\sum R_m}{N} =$

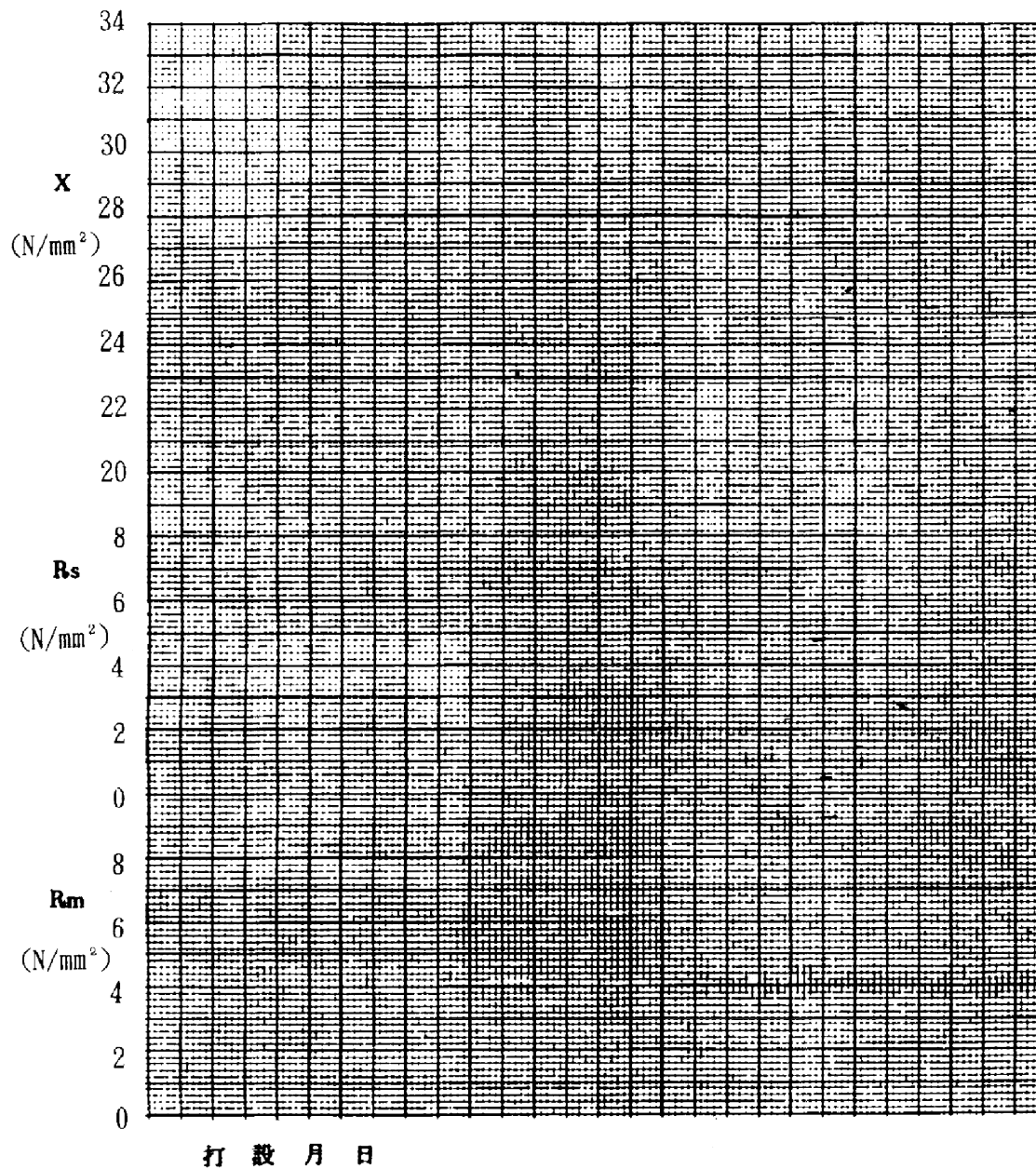
変動係数 $V = \frac{\sigma}{\bar{X}} \times 100 =$

度は不要

コンクリート強度（圧縮）管理図

工事名

工種



現場代理人

